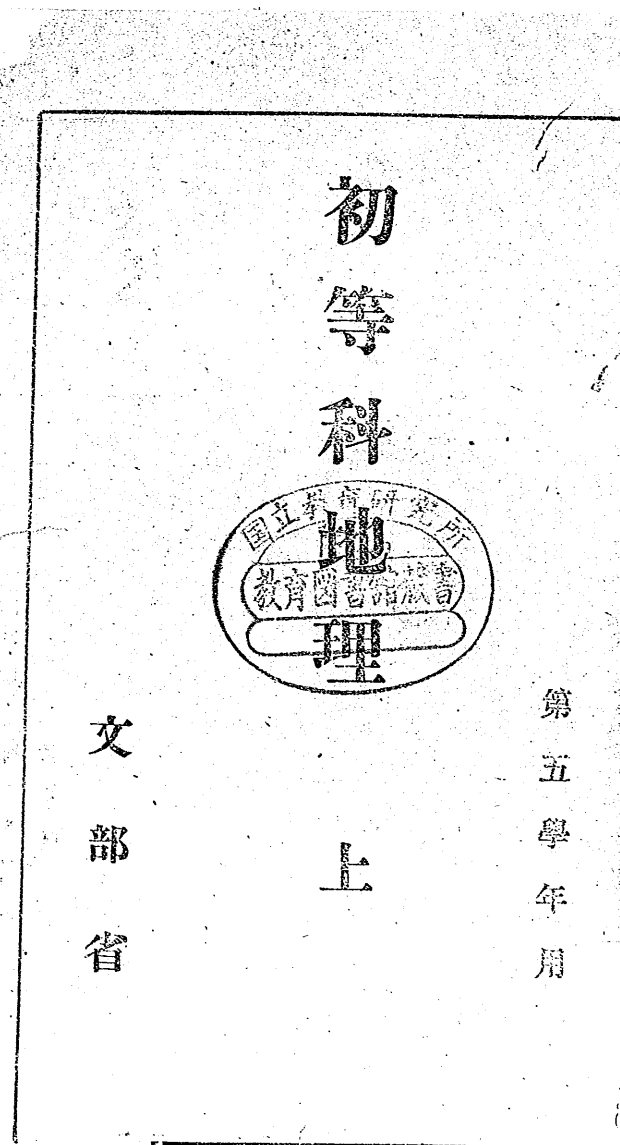


貼紙補修資料



D5

284



- 一 日本
- 二 本州・四國・九州
- 三 帝都のある關東平野
- 四 東京から神戸まで
- 五 神戸から下關まで
- 六 九州とその島々
- 七 北陸と山陰
- 八 中央の高地
- 九 東京から青森まで
- 十 北海道

# 一日 本

わが國は、アジア大陸の東側にある太平洋上の島國で、大小の島々から成り立つてゐます。大きな島には、本州・四國・九州及び北海道があり、そのほか小さな島がたくさんあります。

これらの島々は、大體、北東から南西の方向に連なつてゐて、その東には、世界でいちばん大きな海の太平洋が、廣々としてうち續き、また一方、大陸との間には、オホーシツク海・日本海・東支那海があります。さうして太平洋をはじめ、これらの海は、互に海峡によつて、相通じてゐます。

わが國土が、大きな海洋と大陸との接するあたりに位してゐる島國であることは、氣候・産業・交通その他、いろいろの點に深い關係があります。

わが國の東には遠く太平洋を越えて、アメリカ大陸

があり、北から西にかけては、シベリヤ・朝鮮・支那。また南には、フィリピン・ボルネオ・ニューギニアなど、南方の島々をへだてて、オーストラリアがあります。

わが國の總面積は、およそ三十八萬平方キロで、本州が、その六割を占めてゐます。總人口は八千萬に近く、世界でも國土の面積のわりに、人口の特に多いの一つとなつてゐます。

行政上、本州・四國・九州及びこれらに屬するものを、一都・二府四十三縣に分け、これを治めるために、都には都廳、府には府廳、縣には縣廳が置かれてゐます。別に北海道には北海道廳があります。

## 二 本州・四國・九州

わが國の島々のうちでいちばん大きな本州は、その位置もちやうど真中どころにあたつてゐます。四國と

九州とは、本州の西にくつついたやうな島ですから、この三つの島を一かたまりとして見る事ができます。

わが國の島々には、せばねのやうな山脈が真中を通つてゐます。本州でも、やはりその島の形なりに、中央から北では南北へ、西では東西へ、山脈が通つてゐますが、その西の端は、北九州の山脈に續いてゐます。それにもう一すぢ、本州の中央から分れて紀伊半島を通り、四國を経て、九州のなかほどをななめに横ぎつてゐる山脈があります。本州の中央は、これらの山脈が集つて、土地がいちばん高くなつてゐるばかりでなく、また島の幅もいちばん廣くなつてゐます。このせばねのやうな山脈には、これに沿つた火山帯があります。また別に、本州の中央から伊豆七島・小笠原群島に續く火山帯もあつて、火山がいたるところにそびえてゐます。

本州の太平洋側では、利根川の流れを中心とする關東平野や、木曾川の下流にある濃尾平野や、淀川の下流にある大阪平野、また日本海側では、信濃川の下流にある越後平野が、平野の主なもの。九州の筑後川に沿つた筑紫平野も、かなり廣い平野です。

海岸に沿つた、幅のせまい平野も各地に見られますが、土地が山がちですから、山が海にせまつて、小船を寄せる平地のない海岸もたくさんあります。海にのぞんで切り立つた岩山のすそに小島のちらばつてゐると、松林の續く砂濱に波の打ちよせるのは、日本の海岸風景の特色といつてよいでせう。

海岸線の出入と島の多いところは、九州と瀬戸内海の沿岸で、島や灣のいちばん多いところです。

紀伊・伊豆・房總などの半島は、太平洋側の主な半島で、能登半島は、あまり大きな出入のない日本海の沿岸で、特に目に立つ半島です。

上がとがつて、ふもとになだらかなすそ野を引く火山のすがたは、日本各地の景色を美しく引き立ててゐます。富士は、その代表的な山であります。また、淺間山や阿蘇山のやうに、絶えず煙を吐いてゐる火山も少くありません。わが國は、世界でも有名な火山國で、火山にとりなつて温泉もたくさんありますし、また地震も多い國であります。

本州の主な川々は、せばねの山脈を境にして、太平洋に注ぐものと、日本海に注ぐものとがあります。山地が多いので、どの川も大體流れが早く、川の上流や中流といへば、青々と木の茂つた谷合ひを、きれいな水が勢よく流れてゐるのがふつうです。その谷合ひに、せまい平地や、やや廣い盆地があります。

川の下流になると、兩側に廣い平野があります。廣いといつても、大陸にあるやうな大きなものではありません。

本州・四國・九州のうち、本州の北東部には、多くなり寒いところもありますが、その他の地方は寒さも知れたものです。殊に、本州中央の太平洋沿岸から四國・九州にかけては、真冬にも暖い日光をあびながら、らくに野外で働くことができます。

ただ、本州の日本海沿岸の冬は、海の方から吹きつける北西季節風のために、盛んに雪が降り、野も山も深い雪におほはれて、交通にもたいへんなぎをするところがあります。この點、太平洋沿岸とは、いちじるしいちがひですが、これは主に、太平洋側と日本海側とを分けるせばねの山脈が、北西風の運ぶ濕氣をさへざる役目をしてゐるからです。

夏の盛りには、さうたう暑い日が續きます。盆地や、平野の真中あたりなどは特にさうですが、しかし海にかこまれた島國ですから、涼しい海風が、よほど暑さをやはらげてくれます。本州・四國・九州の南海

岸が、夏特に雨が多いのは、南東季節風が太平洋から濕氣を吹き送るためです。夏、雨の多い本州の太平洋側と、冬、雪の多い日本海側とは、かうした氣候のちがひにつれて、いろいろなちがひが見られます。

山にかこまれた瀬戸内海の沿岸は、北の中國山脈、南の四國山脈によつて、日本海や太平洋の方から來る濕氣がさへぎられるので、雨が少く晴天の日が續きます。

わが國の島々は、海岸の平野をのぞけば内部は大體が山がちですから、主な交通路は、昔から海岸に沿うてゐるところが多く、本州・四國・九州では、そのやうすが特によくわかります。

東京が江戸と呼ばれたころ、東海道五十三次といつて有名であつた江戸と京都の間の街道も、できるだけ山地をよけて海岸の平野を遡つてゐます。今も、あちこち残つてゐるそのころの松並木を見ると、昔の旅の

さまがしのばれます。

東京から神戸へ行く今の東海道本線のうち、東京から名古屋までは、大體この街道に沿うてゐるのです。さうしてわが國の特に大きな都市が、すべてこの鐵道に沿うてゐるのを見て、この線が、交通上大切であることがよくわかるでせう。

瀬戸内海の沿岸を通つてゐた山陽道も、同じやうに海岸つたひで、これも今の山陽本線とよく一致してゐます。また、日本海沿岸の北陸・山陰の街道も、やはり海岸に沿うたもので、北陸本線と山陰本線の鐵道は、それぞれこの道すぢを通つてゐるのです。

東京・青森間の鐵道では、東北本線は阿武隈川や北上川の谷を通り、奥羽本線はいくつかの盆地を通るので、大部分海岸をひではありませんが、これらも昔からの街道とよく一致してゐますし、常磐線は、關東平野から北の方は太平洋岸を通つてゐて、これも古い街

道すぢにあたつてゐます。

内部の山地を横ぎつて、太平洋側と日本海側とをつなぐ鐵道は、開通もおそく、しかも主な鐵道線は少いのです。四國でも主な鐵道は、瀬戸内海の沿岸にありまうし、また九州を一周してゐる主な鐵道も、大部分、海岸に沿うてゐます。

### 三 帝都のある關東平野

關東平野は、わが國でいちばん大きな平野です。平野の少いわが國では、それがめづらしく大きいことと、その位置が本州のほぼ中央にあたつてゐること、さうしてそこに帝都東京があることが、この平野について最も大切な點です。東京と關東平野とは、どうしても切りはなして考へることができません。東京を中心として、鐵道や電車が平野の四方へのび、またそれらの線をれんらくする線があつて、ちやうど、くもの巣を

張りめぐらしたやうになつてゐます。これを見ても東京とこの平野とが、どんなに深い關係があるかがわかるでせう。これほど交通が発達してゐるのは、東京や横濱のやうな大都市があるからであります。また、平野といふものが、道路や鐵道を敷くのに便利であるからであります。

東京は、わが國でいちばん人口の多い都市ですから、いろいろな品物が、全國から集ります。とりわけ東京の近くでできるものは、送るのに便利ですから、この平野にいろいろな産業が発達することになります。都會向きの野菜の栽培が、東京の近くで盛んに行なはれるのは、その一つの例であります。

帝都のまはりに、かうした廣い平野をひかへてゐることは、まことに意味のあることです。

關東平野とまはりの山地 東京の西の郊外へ出て、武蔵野の小高いところに登ると、見渡すかぎり廣々と

また關東平野が、目の前に開けます。平野といつても、このへんは、どこまでも水田が續くといつたふうには、ごく平らではありません。表面のゆるやかに起伏する臺地が、いたるところにあつて、その間を流れる川のへりに水田があります。よく晴れた日なら、遠く西から北に、この平野をかざる山々を望むことができます。西には、わりあひに近く、箱根からすつと北に續く山々が見え、その間にすつきりと、上半身をあらはした富士のすがたが美しく見られます。北には、はるかに榛名や赤城や、日光の山々も見えます。

北東の筑波は、平野の中にぼつんとそびえてゐるので、遠いながらも目につく山です。また南には、右手に伊豆、左手に房総の山々を望み見ることができま

す。  
富士と筑波は、關東平野にはつきものの山で、江戸の名所の繪にも、この二つの山がきつとかきそへてあ

が行なはれ、わが國でも主な葉たはこの産地となつてゐます。

平野が廣いだけに、米もたくさん取れます。しかし、東京・横濱のやうな大都市をはじめ、平野の各地に都市があつて、わが國でもいちばん人口の密なところですから、この地方の米だけでは足りません。随つて東京には、他の地方からたくさん米が集ります。

關東平野の北から西へ續いてそびえてゐる高い山々は、冬、日本海方面から来る濕氣をさへぎる役目をしてゐます。それで山地の北側は、冬中雪が深く積つてゐるのに、せなか合はせの關東平野は、雪もまれで暖かです。東京から上越線で新潟方面へ、冬、旅行する人は、清水トンネルあたりを境に、南と北の氣候がすつかりちがつてゐるのでびつくりします。關東平野でも、南の相模灣の岸や房總半島の沿岸などは、近く暖流の流れる海に面してゐるので、いつそう暖かです。

るほです。

前にも述べたやうに、關東平野は、臺地と川の沿岸の低地とが入りまじつてゐますが、荒川を越えて利根川の沿岸になると、だんだん低地が廣くなり、臺地はきれぎれになります。低地は大部分が水田で、臺地には島が續きます。關東平野が、わが國でいちばん多く麥を産するの、かうした廣い島があるからであり、またさつまいもの多くとれるのも、そのためです。

武蔵野を西へ行くと、山のふもとに近づくにつれて桑島が多くなり、見渡すかぎりそれが續きます。關東平野の西部から北西部にかけての山麓地帯では、いたるところ養蠶業が行なはれ、随つて製絲業・絹織物業もまた盛んです。前橋・高崎・富岡・熊谷などは製絲業の中心地であり、桐生・足利・伊勢崎・八王子などは絹織物の産地です。

また關東平野の北東部と南西部には、たばこの栽培

しかし、山地を越して来る冬の北西風は、平野の方へ強く吹きおろして來ます。濕氣を失つた空つ風が、

平野の北ほど強く吹きます。東京でも武蔵野の土煙をあげて吹いて来る風は、めづらしくありません。

冬は天氣がよく、夏は南東季節風が濕氣を運んで雨の多い關東平野は、農業が盛んであり、交通の便利なことと相まつて、いろいろな産業が発達するのです。

東京とその附近 帝都である東京は、東京灣に注ぐ荒川下流の低地から、武蔵野の臺地の上にわたつてひろがうてゐる町ですから、低地にある下町と、臺地にある山手とに大別されます。宮城の附近には、議事堂や、官廳や、東京驛その他銀行會社などの大きな建物が集つてゐます。

荒川の下流を隅田川といひ、その沿岸から東京灣に沿ふ埋立地にかけては、大きな工場や倉庫の立ち並んだ工業地帯があります。この地帯は、さらに南へのび

て川崎・横浜に續き、京濱工業地帯をなしてゐます。東京にはあらゆる學校があり、また大きな博物館や圖書館があり、わが國學問の中心地として、圖書の出版の盛んなこともわが國第一であります。

東京はもと江戸といひ、徳川氏の幕府があつて繁昌したところですから、そのことからすでに陸上の交通も發達し、主な街道が四方へ通じてゐました。今日では、東海道本線をはじめ、中央本線・東北本線・常磐線など、わが國の主な鐵道の起點となつてゐます。その上、郊外へ出る電車の便利がよく、隨つて附近の町々は、東京と切つても切れない關係をもつて、發達して行くのです。

横浜は、神戸・大阪とともにわが國の三大貿易港の一つで、太平洋やインド洋を往來する大きな汽船も、自由に入出することが出来ます。東京に近く、その間の交通が便利ですから、いはば東京の港として利用される

たことが、この港の大きく發展するものとなつたのです。明治時代になるつひ前、外國貿易のために開港されるまでは、ほんのさびしい漁村でした。

東京と横浜との間にある川崎は、ちやうど京濱工業地帯の真中にあたつてゐるので、近年小さな町から、工業都市として急に發達したところなのです。

多摩川の川口附近や東京灣の東岸では、淺瀬を利用してのりの養殖が盛んです。もとは東京の海岸でも行なはれ、のりは昔から東京の名産であります。東京から東の方、千葉附近にかけての東京灣岸も、交通が便利となるにつれて都市が發達してゐます。

三浦・房總の二半島は氣候がよく、特に冬暖かですから、休養保健のために東京から出かける人がたくさんあつて、そのために發達した町も少くありません。この二半島及び附近は、かうした氣候に恵まれてゐますから、野菜や草花が盛んに作られ、また、びばり

などの果物もできます。多でも戸外に美しく咲いてゐる草花を見ることが出来ます。

三浦半島の東岸には横須賀があります。近くにある鎌倉は、三面に山をめぐらし、南に海をひかへたところで、この要害をえらんで、七百五十年の昔鎌倉幕府が開かれたのです。名高い神社や寺院が多く、いたるところ史蹟があつて、見るもの聞くものが歴史をしのばせます。

利根川 利根川は、關東平野を流れて太平洋に注ぐ大きな川です。長さでは信濃川におよびませんが、多くの支流を集めて廣い平野をゆつたりと流れてゐるこの川には、たしかに大河のおもむきがそなはつてゐます。

この川は、關東平野の北にそびえてゐる山地の奥深い谷に發して、平野の真中をななめに横ぎり、やがて東へ流れるのですが、その間、あらちから注ぎこむ

たくさん支流や、下流地方にある大小の湖沼は、いはば利根川の引きつれる一族とも見なすことが出来ます。

利根上流の谷々をさかのぼり、やがて山を越えるいくつもの峠道では、碓氷峠とか清水峠とか、昔から有名なものがあります。急な坂を登るのでから、そこに通じてゐる鐵道にはたくさんトンネルがあり、中でも上越線の清水トンネルは、長いことにおいてわが國第一であります。また信越本線が碓氷峠を越えるところには、アプト式といつて線路に齒止めが仕組んであります。

利根上流の山地には、那須火山帯が通つてゐますから、淺間・榛名・赤城・男體・那須など、たくさん火山があり、温泉が各地にわき出てゐます。中でも、伊香保・鹽原などはよく知られた温泉です。淺間山はたびたび爆發するので、活火山として有名な山で

す。頂上から絶えず立ちのぼる煙は、遠くからでも  
見ることが出来ます。ふもとにある鯉井澤は、土地の  
高い高原で、夏涼しく、暑さをしのぐのに適してゐま  
す。

男體山を中心に、多くの火山の集つてゐる日光に  
は、中禪寺湖や華嚴瀧などがあつて景色がよく、その  
あたりは國立公園として世界に有名です。近くの足尾  
には大きな鑛山があり、銅の精錬を第一に、金や銀も  
産出します。

利根川の上流は、本流や支流も、岩にくだけうづを  
巻く急流ですから、最もよく水力發電に利用され、そ  
の電気は主に東京へ送られます。この川が平野へ出る  
と、急に水勢がゆるやかになり、廣い河原をつくつ  
て、田や畠の間をゆつくりと流れます。沿岸には村や  
町が多く、道路や鐵道が、岸に沿ひ川を横ぎつて四方  
に通じ、車馬の往來がにぎやかです。昔は川船が盛ん

た江戸川沿岸の野田とともに、醬油の製造がたいそう  
盛んであります。

#### 四 東京から神戸まで

東京から神戸へ行く東海道本線は、わが國鐵道の幹  
線中でも特に多く利用され、いはば幹線の代表とも見  
られます。沿線はいたるところ産業が盛んで、大きな  
都市が發達し、人口もわが國でいちばん密度の高いと  
ころです。東海道本線を走る汽車の窓から、移り行く  
景色を眺めて、その美しさを樂しむとともに、なほ産  
業・交通・都市などのやうすについても、いろいろ學  
ぶことができます。

富士と箱根 東海道本線によつて東京から神戸へ行  
く途中で、たれでもいちばん心を引かれるのは富士山  
でせう。富士山はすむぶん遠くから見える山であり、  
見る場所によつてそれ／＼のおもむきがありますが、

に上下し、人や荷物を運び、川岸の所々に港が發達し  
て、その水運は、もつぱら關東平野の交通上大切であ  
りました。鐵道や自動車の便がよくなつた今日で  
は、下流地方をのぞくほか、あまり利用されなくなり  
ました。

下流へ行くにつれて、川幅は廣くなり水量は豊かに  
なつて、霞浦その他の湖沼と水路が續き、大小の運  
河がまた沿岸の低地を網の目のやうにぬつて、そのへ  
ん一帯どこを見ても水ばかりになります。いたるところ  
船の利用されるこのあたりでは、船が車や馬の役を  
してゐるわけです。

霞浦は平野にある大きな湖ですが、平野の中の大き  
な湖は、わが國にはごくまれで、霞浦は、いかにも利  
根川にふさはしい湖です。北に近く筑波山がそびえ  
て、湖岸の景色に變化を與へてゐます。

利根川の川口にある銚子は、漁港として知られ、ま

駿河灣の沿岸では、すそ野から頂上までの全體のすが  
たを、近く仰ぎ見ることが出来ます。私たちは、富士  
山を見てたい美しい山だと感じるだけではなく、何と  
もいへない氣高さ、雪さをおぼえます。富士を靈峯と  
よぶのは、日本人のこの氣もちを最もよくあらはして  
ゐると思はれます。

富士に近い箱根も有名な火山で、ともに富士火山帯  
にあたつてゐます。箱根には火山にとまなふいろく  
な地形が見られ、美しい景色に變化を與へてゐます。  
また行く先々に温泉があるし、史蹟もあつて、たづね  
る人が特に多いのです。箱根は昔の東海道の旅で、い  
ちばんの難所とされたところで、そのけはしい山道  
と、蘆湖の岸にあつた關所とは、有名なものでした。  
昔から小田原と三島とが東西の登山口で、今では小田  
原から、東海道本線にれんらくする登山電車が通じて  
ゐます。

箱根の山地は、南へのびて伊豆半島にはいつてゐますが、この半島にも各地に火山があり、また熱海・修善寺をはじめ、たくさん温泉があります。すべてこれらは、富士火山帯の通つてゐるところです。なほこの半島の東の海上に、煙を吐いてそびえてゐる大島の三原山をはじめ、伊豆七島の島山もこの火山帯にあたる火山で、それらは、時々爆發することがあります。富士火山帯はさらに南へのびて、父島・母島などの小笠原群島へ續いてゐます。

伊豆七島・小笠原群島は、位置がずっと南にある上、暖流が流れてゐるので、たいさう暖かです。殊に、小笠原群島には熱帯の植物が茂り、さとうきび・バナナ・パイナップルなどを産します。

みかん山と茶島 伊豆半島の北部から駿河湾の沿岸には、いたるところにみかん山があります。山や岡の傾斜地を切り開いた段々島に、青々としたみかんの木

が茂りあつてゐます。冬の初めごろになると、色づいた鈴なりのみかんが、畠を黄色に色どつて、いつそう美しく目にたちます。静岡縣は、西の和歌山縣とともに、わが國でいちばん多くみかんを産するところ です。

また、駿河湾の岸から濱名湖附近にいたる間は、茶の栽培のたいそう盛んなところで、山のふもとや傾斜地や岡の上などは、どこもかしこも茶島です。特に大井川の下流あたりがその中心地で、廣い岡の上は、見渡すかぎり茶島が續き、きれいに刈りこんだ茶の木がきらんと並んでゐます。富士にまだ雪の白く残つてゐる春の茶摘時になると、どここの茶島もにぎやかです。そこで、製茶業はこのへん各地で行なはれ、静岡縣は、わが國の茶の産額の半分以上を出してゐます。静岡は製茶の中心地です。

茶やみかんの栽培の盛んな駿河湾の沿岸から、濱名湖附近にかけての地方、及びその西の名古屋との間に

は、東海道本線に沿うて、沼津・清水・静岡・濱松・豊橋・岡崎などのおもだつた都市があり、それぞれ附近の産業・交通の中心として發達しました。

濱名湖は景色がよく、魚類の養殖が盛んです。濱名湖から西へ豊橋・岡崎をすぎると、やがて行く手に濃尾平野が廣々と開けます。

濃尾平野と伊勢海 木曾川の下流から、知多半島附近にかけての廣い平野が濃尾平野で、三面は山地にかこまれ、南の方は伊勢海に開いてゐます。この平野は、木曾川の川口附近を越えて、伊勢海の西岸にある伊勢平野に續いてゐます。

濃尾平野とその附近は、古來交通上大切なところで、多くの街道がこゝに集つてゐます。東海道をはじめとして、まはりの山地からこの平野に流れくだる川々に沿うて通じる道や、伊勢平野を通る道などの組み合ふ十字路ともいふべき地方であり、その上、昔の都

京都に近かつたために、いつそう交通上大切なところとなつてゐたのです。

濃尾平野は、氣候がよく土地も肥えてゐるので、農業が發達し、米や野菜がたくさんできます。桑島も廣く分布し、養蠶が盛んですから、まゆ・生絲を多く産出します。養鶏も早くから有名で、愛知縣は、わが國でもいちばん養鶏の盛んなところとなつてゐます。

この濃尾平野の中心が名古屋です。まはりに廣い平野をひかへ、南に深く入りこんだ海にのぞんでゐる名古屋は、土地のやうすから見ても、東京とよく似たところがあります。もちろん濃尾平野は、關東平野ほど大きくはありませんが、同じく本州にある主な平野であり、この平野が、名古屋といふ大きな都市を生んだといへるでせう。

名古屋がもと城下町として發達したところであることも、また東京と同じです。

初等科地理上 第五學年用(第二分冊)

城下町時代から交通の要地であつた名古屋には、東海道本線・中央本線・關西本線など主な鐵道が集り、電車も、町から平野の各方面へ通じてゐます。さらに近年うづなな築港ができて、大きな汽船が自由に出入するやうになり、名古屋はわが國屈指の貿易港となりました。

名古屋はまた、その附近とともにわが國の一大工業地帯として發達したところです。なほ濃尾平野には、一宮・岐阜・大垣などの都市があります。

名古屋の北東にある瀬戸は、陶器の産地として古い歴史をもち、それが世にひろまつて、瀬戸物といへば陶器のことを指すほどですが、近年名古屋も陶器製造の中心となりました。名古屋から瀬戸・多治見にかけては、わが國で最も盛んな陶器地帯となつてゐます。伊勢平野の主な都市には、桑名・四日市・津・松阪・宇治山田などがあつて、それら附近の産業・交通

の中心となつてゐます。

琵琶湖のはとり 琵琶湖は、わが國でいちばん大きな湖で、滋賀縣の面積の六分の一にあたります。縣全體が琵琶湖を中心とした一つの大きな盆地で、國の名をとつて近江盆地といひます。

盆地の川は、みな琵琶湖に注ぎます。湖の西岸は、山がせまつて平地も少いのですが、東岸には、湖に注ぐ川々の下流にできた平野があり、人口も密です。湖の水は、一部は南端から流れ出て淀川となり、一部は天津から疎水運河により京都へ引かれて、水運に利用され、また飲料水ともなつてゐます。

近江盆地は、その位置が、京都と東の地方とを結ぶ主な街道の通る道すちにあたつてゐて、古來交通上大切とされてゐました。また、琵琶湖は交通上よく利用され、大津をはじめ、沿岸には所々に港があります。琵琶湖を中にたへた近江盆地は、いたるところ風

Approved by Ministry  
of Education  
(Date May. 4, 1934)

發行所 東京都王子區堀船町一丁目八五七番地  
東京書籍株式會社

印刷所 東京書籍株式會社

著作權所 文部省

發行者 文部省

代表者 井上源之丞

昭和二十一年五月四日 印刷  
昭和二十一年五月二十五日 發售  
〔昭和二十一年五月四日發行〕

初等科地理上 第五學年用(第二分冊)  
定價 金拾圓

景がよく、盆地全體が一つの美しい風景畫ともみられ  
ます。

琵琶湖は、盆地の氣候にも關係が多く、夏の暑さと  
冬の寒さをやはらげてゐることに役立つてゐます。

琵琶湖では漁業が行なはれるほか、魚類の養殖が行  
なはれ、殊にあゆはわが國諸地方の川に放すためにた  
くさん育てられ、元氣のよい小あゆが、遠く各地へ送  
られて行きます。

湖岸の平野は土地がよく開け、品質のよい米が取  
れ、また菜種を多く産します。北陸に近くて雪の多い  
盆地の北部では、養蠶が盛んで、その中心の長濱は絹  
織物の産地です。

米原は、東海道本線から北陸本線が分れるところ、  
彦根は城下町として發達したところで、りつばな城が  
残つてゐます。大津は湖上交通の中心で、市の内外に  
は人造絹絲の大工場があり、わが國でもその主な産地

一大中心地で、近代都市としての發達も見るべきもの  
があり、わが國屈指の大都市であります。

町すちがごばんの目のやうにきちんと東西南北に通  
つてゐるのは、都のつくられた時からの形が残つてゐ  
るからです。

市内には名高い神社や寺院がたくさんあります。美  
しい社殿や堂塔の後に、東山のやうな圓く重なり合ふ  
山々を望むところに、京都らしい、落ついた美しさと  
奥ゆかしさが感じられます。北東の方にそびえてゐる  
比叡山は、眺望がよいので登る人が絶えません。

各種の學校、博物館などがあつて、わが國學術の一  
中心地となつてをり、また古くから美術工藝品の製作  
が有名で、絹織物・染物・陶器など、いづれも品質の  
すぐれたものを産します。

市の南にある宇治を中心とした附近一帯は、名高い  
宇治茶の産地です。

となつてゐます。

京都と奈良 京都と奈良は、ともにかつて帝都であ  
つたところで、それ／＼京都盆地及び奈良盆地の北部  
にあること、しかも市街がどちらも東側の山のふもと  
の方へ片寄つてゐることなど、互に似かよつたところ  
があります。

かやうに京都も奈良も、盆地の北の端に規模の雄大  
な都がつくられたのですが、市街の西の部分はさび  
れ、東の部分が發達して、次第に山のふもとの方へ寄  
つて行つたのです。

兩盆地は、隣りの大阪平野とともに早く開けたとこ  
ろですから、人口もたいさう密で、交通機關もよくと  
とのひ、この三地方の往來は非常に便利です。

京都は一千餘年の久しい間帝都として榮えたところ  
ですから、いたるところに名所・舊蹟があつて、市全  
體が歴史的記念物ともいへるほどです。しかも交通の

奈良は、都が京都にうつされる前、七十餘年の間帝  
都であつたところで、古い文化のはなやかに咲き匂う  
たところだす。市の内外の史蹟・名勝をたづねると、  
そのころの繁華なさまが、なつかしくしのばれ、京都  
とともに、全國から訪れる人がたくさんあります。

奈良の南西にある法隆寺は、わが國で最も古いしか  
も美しい木造建築物で、たくさんのお宝とともに、一  
千三百年の昔の文化の尊い記念です。また盆地の南部  
地方には、古い皇居のあとと御陵とが各地にありま  
す。

大阪と神戸 大阪平野の中央を流れ大阪灣に注ぐ淀  
川の川口に發達した大阪は、わが國第二の大都市で  
す。大阪は古くから港町として榮えたところで、町が  
南東部の低い臺地と、淀川沿岸の低地とに區別される  
ことは、東京と似てゐます。たゞ臺地の部分は、東京  
の山手にくらべて、すつとせまく、しかもこの部分は

大阪での古い場所、史蹟も少くありません。低地は簡工業區域で、そこは淀川の下流がくしの齒のやうに分れ、それらをつなぐ堀がまたいたるところに通じてゐます。大阪を水の都といひ、橋の町とよぶのは、まことによくこの町のやうすをいひあらはしてゐます。このたくさんの水路は、昔から、市内の交通に大きな役目をつとめて來ました。今でこそ、人の往來にはあまり利用されなくなりましたが、貨物はやはり川による輸送が盛んで、たくさんの荷物船が活動してゐます。淀川は、單に大阪市内のために便利な水路を開いてゐるばかりでなく、昔は大阪と京都の間の交通にも役立ち、沿岸には、りつばな川の港さへ發達したほゞでした。

大阪は、東京とともに最も工業の盛んなところで、商業についてもまた同じことがいへます。たゞ大阪は、町全體のはたらきがほとんど商業と工業とに集中

されてゐる點で、東京とはまたちがつたおもむきがあります。

大阪を中心に西は尼崎・西宮・神戸など、南は堺・岸和田などの諸市を含む大阪灣の沿岸一帯は、阪神工業地帯とよばれて、わが國の主な工業地帯として發達したところです。大阪港は、神戸港と相まつて、この地帯の門戸にあたり、横濱とともに、わが國三大貿易港となつてゐます。

大阪を中心として四方に通じてゐる電車及び鐵道は、網の目のやうに發達してゐます。神戸との間はもちろん、京都や奈良との間もたいさう便利であり、また大阪平野の附近に多い名所・舊蹟との間にも、電車の往來がひんばんです。

神戸は横濱と並ぶ大貿易港です。港として古い歴史をもつてゐることは横濱とちがふ點ですが、この都市の大きく發達したのは、近くに大阪をひかへてゐるか

らで、そこに横濱・東京の關係と同じものがあります。

天然の地形を利用して築港された神戸港は、港の設備がととのひ、どんな大きな汽船でも自由に出入することが出来ます。

黒潮が紀伊半島 紀伊半島は、本州の太平洋沿岸につき出た大きな半島です。北の方は土地のよく開けた伊勢・奈良・大阪の諸平野に接してゐますが、半島はいたるところ山がちで、殊に中央は山深く、そこにそびえる高い山々は、昔から信仰による登山者の多いところ、海岸も山が直ちにせまつてゐるので、平地がごく少いのです。山地には名所・舊蹟が所々にあります。紀川の上流には史蹟と櫻で名高い吉野山があります。また、南の海近くには那智瀧の名勝があります。

かやうに、半島の内部は大い山地ですから、交通

も不便で、産業もいつぱんに進まず、随つて都市も發達してゐないのです。しかし、紀川や熊野川の流域には森林がよく茂り、杉の良材を産するので、林業が盛んです。熊野川の川口の新宮や、紀川の川口の和歌山はともに木材の集散地で、製材も盛んです。

有田川の沿岸を中心とした地方は、みかんの産地として有名で、いはゆる紀州みかんの本場です。

紀伊半島の沿岸は、古來漁業の盛んなところ、沿岸を洗ふ黒潮の流れには、いわし・かつを・まぐろ・ぶりなどの魚類が多く、また勇ましい捕鯨業もこの半島の南部海岸では、昔から有名です。

黒潮は、日本海流といはれる太平洋中の大きな暖流です。流れの色が黒みがつてゐて、他の部分と區別されるところから、かうよばれるのです。赤道の北を西へ流れ、フィリピンの島々につきあたつて方向を北へ轉じ、臺灣や琉球列島の沿岸を通つて、九州・四

國の南岸から紀伊・伊豆・房總の諸半島附近を東へ流れ、銚子の近海から本州をはなれて北太平洋の沖へ向かふのですが、別にこの本流から分れて對馬海峡を通り、本州・北海道の日本海沿岸を北上する支流もあります。

この黒潮の通路にあたるのが太平洋沿岸には、各地に漁港があつて、それらの漁港を根據地とする漁船が、黒潮にをどる魚群を追うて盛んに活動してゐます。

## 五 神戸から下關まで

神戸から下關に至る山陽本線の通る地方は、山陽道とよばれて來たところで、京都・大阪方面と九州とをれんらくする地方として早くから開け、海岸の平野には各所に都市が發達してゐます。

神戸に起る山陽本線は、これらの都市を連ねて景色のよい瀬戸内海の沿岸を通り、下關に達するのです

が、下關からは直ちに海底トンネルによつて門司に出て、九州の鐵道にれんらくすることが出来ます。

また下關から朝鮮の釜山へもれんらく船が通じてゐます。

瀬戸内海 瀬戸内海は、本州の南西部と四國・九州との間にかこまれた細長い内海で、交通上大切な位置を占め、わが國で最も早くから海上交通の發達したところ です。

沿岸は非常に出入が多く、岬があればかならず灣があり、灣のほとりには港があります。またこの海全體にわたつて、大小無數の島々がちらばつてゐるので、いつさう船着きに適したところが多いのですが、本土と島との間や島と島との間には、狭い海峡が次々にあるので、船の通路はなかくふくざつです。その上、潮の干満の度ごとに、これらの海峡を潮流がはげしい勢で流れます。淡路島と四國との間の鳴門海峡は、

潮流のはげしいところとして有名です。

瀬戸内海の沿岸は、本州中でも雨の少い、晴天の多い地方で、かつ沿岸の山地も島山も花崗岩の白い山はだを見せ、海岸の砂濱がまた白くかゞやいてゐますので、全體として明かるい感じを與へます。そこに緑の松が連なり、青い海の色と相映じて、美しい景色をくりひろげます。砂濱には各地に鹽田が續き、よく開けた田園が起伏に富んだ岡のふもとをめぐつてゐます。瀬戸内海は、たしかにわが國の海の公園であります。その上、沿岸や島には、史蹟・名勝の地が少くありません。

瀬戸内海は沿岸航路としてだけでなく、外國航路としても大切な道にあつてゐるので、東の神戸・大阪、西の門司・下關などの大きな港の外、沿岸各地に良港があつて、汽船が絶えず往來してゐます。随つて瀬戸内海は海の公園であるとともに、わが國で最もにぎや

かな海の街道といふことができます。

瀬戸内海はまた、水産業の上からも大切な海です。そこにはたくさん魚類が集り、いはゞ天然の養魚場といつたおもむきがあります。随つて、いろいろの魚類が取れますが、殊にたひはこの海の名産です。貝類の養殖も各地で行なはれ、中でも廣島灣のかきは最も有名です。

遠淺で砂濱がよく發達し、晴天の日の多い瀬戸内海の沿岸は、昔から製鹽業が盛んで、いたるところに展開する鹽田風景は、またこの地方の一つの特色です。つまりわが國の鹽のほとんど大部分は、この地方で

きるのです。赤穂・防府・坂出などはその中心地です。なほ沿岸や島々には、いろいろな果樹の栽培が盛んです。氣候が果樹に適してゐるのと、いつぱんに山地が多くて田が少いので、傾斜地を利用してその栽培に力を注ぐからであります。みかん・びは・桃・梨・ぶ

だうなど、いろいろな種類のものを多く産します。

**沿岸の都市** 瀬戸内海の沿岸は、氣候が温暖で、古來交通の便がよく、所々に平野があつて、産業も開けてゐますから、都市の發達に適してゐます。

**播磨平野**の明石は、風景のよいところとして知られ、姫路は、交通の要地を占め、この平野に多い米の集散地であり、また皮細工を産します。市の中央にある城はよく昔のおもかげを残し、そびえ立つ天守閣の美しさは、さすがに天下の名城の名にはちません。廣畑には、大きな製鐵所があります。平野の北にある西脇は、織物の産地です。

岡山は岡山平野の中心地で、この平野との關係を、姫路と姫路平野の場合に比較することが出来ます。岡山から倉敷を経て、福山・尾道・三原に至る地方は、綿絲・綿織物・人造絹絲等の工業地となつてゐます。

地として、水産物の集散が盛んです。

四國の瀬戸内海方面にも、沿岸平野の中心地として、また港として發達した都市がいくつもあります。

**中國の牛** 中國山脈は、いつぱんにけはしくない高原狀の山地ですが、中に火山のすそ野などもあつて、いたるところ牧畜に適し、昔から農家の副業として、牛の牧畜がたいさう盛んです。

山脈の北側の山陰地方にも、南側の山陽地方にも、それ／＼名高い牛の産地があります。これらの牧場は、北海道や、本州北東部にある馬の大きな牧場とちがつて、小さな牧場がたくさんあるのです。育てられた牛は、肉用あるひは運搬用として各地へ送り出されますが、肉用としては神戸方面に送られるものが多く、また廣島その他で、かんづめの製造にあてられるものもあります。所々に牛市が立つて取引され、中には遠くから集つて來て、にぎやかな市が立つところも

岡山・廣島の二縣には、農家の副業として、たゞみ表やござがたくさんつくられ、この地方は、わが國でもその主な産地となつてゐますが、製品は岡山・福山・尾道などに集り、各地へ送り出されます。

廣島は廣島灣の奥にある良港で、海陸の交通がよく、隨つて商工業が榮え、山陽本線の沿線中、神戸に次ぐ大都市として發達したところです。また附近の嚴島は、景色がよいので有名です。廣島灣の外には東に呉、西に岩國があり、岩國は人造絹絲の産地として知られてゐます。

さらに岩國の西には、瀬戸内海に面して、徳山・防府・宇部などがあります。宇部は石炭の産地に發達した工業都市です。宇部の北東にある山口は史蹟に富んでゐます。

下關は、對岸の門司とともに、瀬戸内海の西の口にある良港で、水陸交通の要地です。また漁業の大中心

あります。

**北四國** 四國は、瀬戸内海に面する北四國と、太平洋に面する南四國に分けることが出来ます。北四國は、南四國にくらべて海陸の交通が便利であり、人口も密で、都市も發達してゐます。

高松附近の平野は、土地がよく開け、米や麥を多く産します。雨がわりあひ少いので、播磨平野や大阪平野などと同じく、田に水を引くための貯水池がたくさんあります。海岸に鹽田が發達し、また果樹の栽培が盛んなことは、山陽地方と同じです。

主な都市は大い港で、これらの都市をつなぐ鐵道が、ずつと海岸に沿うて通じ、四國の主な鐵道となつてゐます。これと山陽本線とをれんらくするため、高松と玉野との間には、鐵道れんらく船が通つてゐます。

高松は、交通上大切なところで、附近に屋島があ

り、西へ行けば坂出・丸龜・多度津などの都市が連なつてをり、多度津の南には、琴平の門前町があります。

新居濱は、別子鑛山によつて發達したところです。

別子鑛山は、わが國でも主な銅の産地で、鑛石は瀬戸内海にある四坂島で精鍊されます。さらに西には、西條・今治・松山などの主な都市があります。また道後

は、古くから有名な温泉場です。

南四國 南四國は、北とちがつてたいさう雨が多く、氣候はいつさう暖かで、森林がよく茂つてゐて、林産物に富んでゐます。

陸の交通は、まだいづばんに不便で、鐵道としては、多度津から南の山脈を越えて土佐灣沿岸に至るものと、吉野川に沿ふものが主な線です。そのため、沿岸航路と自動車とが、その不便をおさなつてゐます。

吉野川沿岸には、たばこの栽培が盛んです。下流の

徳島は、この流域の物産の集るところで、阪神地方との取引が行なはれてゐます。

土佐灣沿岸には各地に漁港があつて、かつをやまぐろなどがたくさんとれ、高知縣は、かつをぶし、いはゆる土佐節の産地として知られてゐます。高知は、この地方の中心城市として交通の要地となつてゐます。愛媛縣の南部は養蠶が盛んで、製絲業も行なはれてゐます。宇和島は漁港でまた製絲業の一中心地です。

## 六 九州とその島々

九州は、その位置がわが國でも西の端にあたつてゐるので、歴史上、中國や西洋の國々との交通に關係が深かつたので、海外文化の輸入には、特別の役目をつとめて來た地方です。

北九州 九州でも北九州は、本州の西の入口にあたり、海陸の交通が非常に便利である上に、わが國でも

いちばん大きな石炭の産地ですから、そこにいろいろな工業が發達したのです。中でも福岡縣には、遠賀川流域の筑豊炭田、有明海沿岸の三池炭田の二大炭田があつて、わが國で産する石炭の約半分をこの縣から産出します。そのほか、佐賀・長崎の兩縣からも石炭が出るので、北九州はたいさう石炭に恵まれたところですよ。

九州でも、北の端にあたる門司・小倉・戸畑・八幡・若松などの都市が連なる地方は、いたるところ工場が立ち並んで、わが國の一大工業地帯となつてゐます。殊に八幡には規模の大きな製鐵所があります。門司・若松の二港は、この工業地帯の製品を各地へ積み出し、原料を入れるとともに、また筑豊炭田の石炭を多く積み出します。

福岡は、九州第一の都市で、港町としての博多の名は古くからあらはれてゐます。近くに炭田があるの

で、工業が興り、また昔から名高い博多織を産します。久留米がすうで知られた久留米は、交通の要地として商工業が盛んです。大牟田は、三池炭田のために發達した工業都市です。市の一部に三池港があつて、石炭を盛んに積み出し、また唐津や長崎からも、附近の石炭が多く積み出されます。

長崎は、わが外國貿易の歴史に特に縁の深い港で、大きな造船所があり、機械その他の製造も行なはれてきました。大村灣の出口附近には佐世保があり、その東の有田は、陶器の産地として昔から名高いところですよ。

小倉から南東の瀬戸内海沿岸にも、近年工業が發達し、中津はその一中心地です。別府灣岸の大部分は、日豊本線のほか、久留米や熊本との間に鐵道が通じてゐて、交通の要地となつてゐます。

工業が發達して、人口がたいへん密となり、各地に

都市のある北九州は、交通もよくととのつてゐます。門司から起る鹿兒島本線と、小倉から起る日豊本線とは、鹿兒島で出あつて九州を一周する幹線をなし、また鹿兒島本線から分れる長崎本線も、主な線となつてゐます。

これらの幹線の集る北九州では、その支線が各地に通じ、殊に筑豊炭田地方のたくさん炭坑町をつなぐ線が、網の目のやうに發達してゐます。

北九州は海岸の出入が多く、いたるところに灣があり、また附近には五島や壹岐・對馬をはじめ、大小の島々がたくさんあります。随つて所々に港が發達し、主な都市は大い良港となつてゐますから、海上の交通もたいそう便利です。

九州の近海は、海流の關係で魚類が多いので、九州本土の沿岸や附近の島々には、各地に漁港があつて、漁業の根據地となつてゐます。

きはめて密で、北九州工業地帯とともに、九州でもいちばん密な地方となつてゐます。

阿蘇と霧島 九州は、阿蘇火山帯や霧島火山帯が通つてゐますから、火山がたくさんあります。中でも、阿蘇山と霧島山とはその代表的なもので、そのほか島原半島の雲仙岳や、鹿兒島灣内の櫻島なども有名な火山です。櫻島は、もと鹿兒島灣の奥にある火山島でしたが、大正三年の大噴火の時、流れ出た熔岩のために、大隅半島と地続きになりました。

阿蘇山の舊火口は、東西十八キロ、南北二十四キロ、世界に例のないほどの大きなもので、その中央にまたいくつかの新しい火口丘ができ、その一つが今なほ盛んに煙をはいてゐるのです。これらの火口丘と、舊火口壁との間は平地になり、村や町がいくつもあつてゐます。

これらの火山のあるところは、すべて景色がよく、

長崎縣はわが國でも漁業がたいそう盛んで、同縣のするめは、鹿兒島縣のかつをぶしとともにあらはれてゐます。

筑紫平野と熊本平野 九州でいちばん大きな筑後川の流域にひろがる筑紫平野は、九州一の廣い平野で、これに次ぐ熊本平野とともに、農産物が非常に豊かです。特によい米がたくさん取れ、他の地方へ盛んに送り出します。また、麥や菜種も多く産します。

筑紫平野では佐賀と久留米、熊本平野では熊本が中心都市で、ともに米の取引が盛んです。三市とも、城下町として發達したもので、殊に當時の城として熊本城は有名です。

筑紫平野は、關東平野などちがつて、土地の大部分がごく低く平らですから、見渡すかぎり田が連なり、みぞが無数に通じてゐて、それがこの平野の一つの特色をなしてゐます。筑紫・熊本の兩平野は人口が

附近には大い温泉があるので、各地からたくさんの人があつて來ます。殊に別府は、温泉町として有名なところですよ。

火山の中腹や、すそ野には廣い原野があつて、牧場に適しますから、阿蘇・霧島・雲仙など、いづれもつばな牧場があり、牛や馬が飼はれてゐます。九州はいつばんに牧畜が盛んで、牛も馬もたくさんゐます。

南九州 九州をななめに横ざる九州山脈を境として、その南にある南九州は、北九州にくらべていつそう暖かく、雨もまたすつと多く降ります。この關係は、四國の南と北の場合とよく似てゐます。

南九州では、北九州のやうな商工業の發達は見られませんが、農業や牧畜は盛んに行なはれてゐます。北九州とちがつて田より畠が多く、さつまいもがたくさんつくられ、鹿兒島縣は、沖縄縣とともに、わが國の主な産地となつてゐます。またこの二縣では、豚の飼

育が盛んです。

鹿兒島縣の島々や沖繩縣は、氣温が高いので、さとうきびが育ち、砂糖を産します。鹿兒島や那覇はその集散地です。なほ鹿兒島縣は、たばこの産地として知られてゐます。

鹿兒島縣には金・銀や錫を産し、宮崎縣から大分縣にかけての九州山脈中にも、金・銀・銅・錫などの鑛山があります。佐賀縣には大きな精鍊所があつて、盛んに金・銀・銅を精鍊してゐます。また、九州山脈には森林がよく茂り、木材をはじめ、木炭・しひたけなどがたくさん出ます。なほ、近年この山脈中、所々に水力發電所がつくられ、その電力が附近の都市に工業の發達をうながしました。

鹿兒島は、南九州第一の都市で、鹿兒島灣にのぞみ、櫻島と相對してたいそう景色がよく、絹織物・陶器などを産します。南九州での海陸交通の中心とも

ほどで、野も村も町も全く一面の雪に埋まつてしまふありさまは、暖かい地方の人たちにはほとんど想像もつかないでせう。

かやうに雪の多い地方ですから、冬の交通は困難であり、産業上にも、いろいろのさしつかへが起ります。いつばんに冬は田や畠の耕作ができません。そこで、長い冬を利用して各種の副業をいとなみ、それが今では大きな産業となつてゐるところもあります。そのほか、いろいろな點で、北陸の生活は、雪と深い關係があるのです。

米と石油の越後平野 信濃川の下流にある越後平野は、わが國でも主な農業地で、殊に米が多く取れます。新潟縣は、わが都府縣中第一の米の産地で、東京をはじめ諸地方へ、たくさん送り出します。

越後平野やその附近では、絹・麻・人絹などの織物業が各地に行なはれてゐます。もとは、農業の餘暇を

なつてゐます。宮崎は、大淀川の下流にある平野の中心地で、米の取引が行なはれます。附近一帯には史蹟がたくさんあつて、太古に開けた地方であることを物語つてゐます。北の延岡では、水力電氣を利用し、人造絹絲・肥料などの工業が行なはれてゐます。

## 七 北陸と山陰

北陸は、新潟・富山・石川・福井の諸縣をふくむ地方をいひ、山陰は福井縣から西の方、中國山脈の北側を占める一帯の地方をいひます。兩地方とも日本海に面し、後に山地をひかへ、その山地を南へ越えた太平洋側や、瀬戸内海側とは、氣候その他いろいろな點でちがつてゐて、本州日本海沿岸としての特色をあらはしてゐます。

雪の北陸 冬、雪の多い日本海沿岸でも、北陸は特に雪が深く積ります。屋根よりも高く積る地方もある

利用した副業から發達したものです。

またこの平野は、石油の産地として知られ、秋田縣とともにわが國の石油の二大産地となつてゐます。柏崎・長岡・新津・新潟などには製油所があつて、石油を精製します。なほ新潟縣の鑛産物として、佐渡の金は古くから有名です。

信濃川の川口の港として發達した新潟は、近ごろ築港が新しくでき、日本海方面の大切な港となつてゐます。

上越線や信越本線は、越後平野と關東平野とを結び、信越本線と直江津で出あふ北陸本線は、越後平野と京都・大阪方面とをれんらくしてゐます。

直江津に近い高田は、雪の深いところとして知られ、附近の平野の中心地です。直江津から北陸本線で西へ向かふと、けはしい崖の海岸を通つて富山平野へはいります。

立山連峰を望む富山平野 まはりに山をめぐらし、前に灣をひかへた富山平野は、田が一面にひろがり、北陸では、越後平野に次ぐ米の産地で、他地方へたくさん送り出します。

富山平野をめぐる山地のうちでも、東側は特に高く、そこにそびえてゐる立山連峰を望む景色は、まことに雄大です。高い山地を流れる川々は急流で、かつ水量が多いため、いたるところ水力發電に利用され、その電力によつて、富山・高岡・伏木などには、いろいろな新しい工業が興りました。その電氣はまた、東京・大阪などにも送られます。富山平野及びその附近では織物業が盛んですが、昔から有名なのは賣薬で、各地で製造され、富山はその中心地となつてゐます。伏木は、この平野の港として米を積み出します。

羽二重の産地 北陸本線は、富山平野から南西へ向

の交通の要地です。また宮津灣の奥には、風景地として名高い天橋立があります。

船上山と大山 京都から北西へ向かふ山陰本線は、福知山を通り、やがて日本海沿岸に出ると、ずつと海岸に沿うて西へ走ります。その沿線にある鳥取は、岡山へ通じる鐵道の分れるところで、製絲業が行なはれます。鳥取から砂丘の發達した海岸を西へ進むと、大山火山の雄大なすがたが近いて來ます。

大山は山陰・山陽の名山で、その廣いすそ野は海岸までのびてをり、牧場としても利用されてゐます。

米子は海陸の交通が便利で、近年商工業が發達し、夜見濱の先端にある境との間に、鐵道が通じてゐます。境と隠岐との間には、れんらく船が通つてゐます。

出雲・石見の海岸 島根半島は、その内側にある中海や宍道湖とあひまつて、山陰の海岸に著しい變化を

かひ、金澤・福井・敦賀などの都市を通つて近江盆地へはいるのですが、その道すぢにあたる石川・福井の兩縣は、羽二重の産地として知られてゐます。殊に、福井縣はその製造が盛んで、わが國第一の産額を示し、原料の生絲は全國各地から集ります。石川縣は、これに次ぐ産地です。なほ、兩縣には人絹織物の生産が多く、これも福井縣・石川縣の順で、わが國第一であります。

北陸第一の都市である金澤は、附近一帯の地方とともに、羽二重・人絹織物及び陶器を産し、福井は羽二重の町ともいはれるほどで、縣内の織物業の中心地となつてゐます。

若狹灣は海岸の出入が多く、東部の敦賀灣、西部の舞鶴灣・宮津灣には、それぞれ敦賀・舞鶴・宮津の港があります。中でも敦賀は、天然の良港の少い本州日本海沿岸ではきほめて大切な港で、對岸の大陸方面と

與へ、美しい風景をくりひろげてゐます。しかも宍道湖附近の平野は、平野の少い山陰中の主なものであります。島根半島の北にある隠岐の島は漁業が盛んです。出雲の南西に續く石見は、ほとんど山地ばかりで、山陰本線もずつと海岸に沿うて走つてゐます。出雲・石見は日本海沿岸でも雪が浅く、冬もわりあひに暖かです。

宍道湖附近の平野では、米のほか、まゆを多く産します。養蠶は、山陰方面が山陽方面よりも盛んです。宍道湖の東岸にある松江は、城下町で風景がよく、町が美しいので有名です。

石見地方では、濱田がこの地方の港として知られ、和紙の取引があり、また漁業の一中心となつてゐます。さらに下關へ向かふ山陰本線に沿ふ港として、山口縣の萩があります。維新の史蹟に名高いところ

## 八 中央の高地

本州の中央部は、飛驒・木曾・赤石などの高い山脈があり、各地に火山がそびえ、高原がひろがつてゐて、本州でいちばん土地の高いところとなつてゐます。この高地のちやうど真中を占めてゐるのが、長野縣です。

本州の屋根 本州中央の高地中でも、全體として最も土地が高まつてゐる長野縣は、いはば本州の屋根にあたります。殊に、同縣の西の境にある飛驒山脈は、三千メートル内外の高い山がいくつもあつて、南北に連なるけはしい嶺々は、大空を突いてそびえてゐます。東側の松本あたりから見た飛驒山脈の眺めは、實に壯觀です。山脈の西側には、飛驒高地がひろがつてゐます。

赤石山脈も、三千メートルをこえる山々があつて、

谷は、わが國第一の生絲の町です。原料のまゆは、遠く各地から集められます。諏訪湖から流れ出る天龍川の谷も、まゆ・生絲を多く産し、飯田はその中心地です。松本・長野・上田も、それぞれ養蠶の盛んな盆地の中心地です。松本は、縣のほぼ中央に位置する交通の要地として商業が榮え、製絲業のほか工業も興つて、活氣をおびてゐます。北方の長野は、門前町として發達したところで、附近にはりんごを産します。上田も製絲の盛んなところとして知られてゐます。

かやうに、養蠶の盛んな長野縣は、都府縣中第一のまゆの産地であるばかりでなく、生絲の生産でも、わが國全體の約五分の一を占めてゐます。

山梨縣もまた、甲府盆地をはじめ、各地で養蠶が盛んで、甲府は製絲業の中心地であり、また水晶細工の特産があります。甲府盆地は、昔からぶどうの産地として名高く、殊に勝沼附近では、岡も平地も一面のぶ

同じく雄大な山脈ですが、木曾山脈は大きさがこれらにとりまします。また、長野縣と關東平野との間にある山脈にも、高い山々がそびえてゐます。

これらの山脈の間を流れる信濃・木曾・天龍・富士などの大きな川の谷や、沿岸の盆地は、中央の高地での主な産業地となつてをり、都市もそこに發達してゐます。

中央の高地には、各地に森林が分布してゐて、木材を多く産します。殊に木曾谷の森林は有名で、ひのき・さはらなどの良材が伐り出され、各地へ輸送されます。

名高い養蠶地 本州中央の高地は、わが國でいちばん養蠶の盛んな地方で、いたるところに打ち續く桑畠が見られます。養蠶にともなつて、この地方では、製絲業も各地でいとなまれてゐます。

諏訪湖の沿岸は製絲業が特に盛んで、その中心の岡

だう園です。

長野縣及び山梨縣の東側の山地を越えて、關東平野に出るふもとの地方がまた養蠶・製絲の盛んなところであること、絹織物も所々に産することは、すでに前に述べた通りです。

また長野縣の南西にある愛知・岐阜の兩縣にも、養蠶が廣く行なはれてゐます。

わが國の養蠶業は、本州中央の高地がその大中心地となつてゐますが、他の都府縣でもいたるところ行なはれ、わが國は世界の生絲の大部分を産出するので、随つて、絹織物も古來わが國の名産であり、すぐれた技術と豊かな趣味とをあらはしたものが、各地で織られます。

## 九 東京から青森まで

東京から北の方青森へ行く鐵道には、太平洋側を通

るものと、日本海側を通るものとがあります。

太平洋側を通る東京・青森間の線は、東北本線ですが、別に常磐線があつて、途中までこの線を通つて青森へ行く汽車もあります。日本海側を通る奥羽本線は、東北本線の福島から起り、奥羽山脈を越え、その西側の盆地や海岸平野を通つて、青森に達します。

これらの線が通る福島縣以北の地方は、位置の關係からいつて、本州中いちばん寒いところですが、奥羽山脈を境に、太平洋側と日本海側とでは氣候がちがひ、近くを暖流の流れる日本海側は、寒流の流れる太平洋側よりも氣溫が高いのです。雪は日本海側に深く、北陸の續きであることを思はせ、太平洋側はすつと少いのです。かうした氣候の特色は、産業・交通などにも深い關係があります。

太平洋側 東北本線は、浦和・大宮・宇都宮を経て關東平野を北へぬけ、宇都宮から白河を通つて、阿武

で繋いでゐます。附近の鹽釜は、仙臺の港の役目をつとめ、また同じ仙臺灣にのぞむ石巻などとともに、漁港として活氣を見せてゐます。

仙臺灣の一部である松島灣は、松の茂つたたくさん島々が海上に美しくちらばつてゐて、風景のよいので昔から有名です。

仙臺灣から北の海岸は、たいそう出入が多く、各地に漁港が發達してをり、いわし・かつを・まぐろなどがたくさんとれます。宮城縣は、鹿兒島縣・靜岡縣とともに、かつをぶしの主な産地です。釜石はこの方面の漁港の一つですが、また附近に鐵山があつて、製鐵業が興りました。

東北本線は、仙臺平野から北上川の谷をさかのぼり、馬市で名高い盛岡や、牧馬の盛んな地方をすぎ、陸奥灣にのぞむ青森に達します。

青森は、本州と北海道との交通・商業上大切な港

隈川の谷へ出ます。この谷では養蠶が盛んに行なはれ、生絲を多く産し、郡山・福島はその中心城市となつてゐます。郡山は交通の要地にあり、猪苗代湖の水力電氣を利用して、製絲その他の工業が行なはれてゐます。福島は、その附近とともに生絲や絹織物の産地です。

東北本線と阿武隈川の下流で出あふ常磐線は、東京から北東へ向かひ、史蹟に富む水戸を通つて、太平洋岸へ出ます。水戸の北にある日立は有名な鑛山で、大きな精鍊所があり、銅をはじめ金・銀を産します。

さらに北の方、常磐線の沿線一帯には、茨城・福島の兩縣にわたる常磐炭田があつて、各地の炭坑から出る石炭が驛毎に積み込まれ、盛んに東京方面へ送られます。平はこの炭田の中心地です。阿武隈川の下流から北は、東北本線によつてやがて仙臺に達します。

仙臺は、米のたくさん取れる仙臺平野の中心地として、函館との間には鐵道線らしく船が往來してゐます。

日本海側 本州北東部の中央をたてに貫いてゐる奥羽山脈には、那須火山帯が通つてゐるので、たくさん美しい火山がそびえてをり、温泉も各地にわいてゐます。火山の附近には、南の猪苗代湖や北の十和田湖のやうな、景色のよい湖もあります。なほ那須火山帯に平行して、日本海側を鳥海火山帯が通つてゐます。

磐梯山は、奥羽山脈中の名高い火山で、そのふもとに猪苗代湖は、西の會津盆地よりも三百メートルも高いところにあります。この湖から流れ出る水は、盛んに水力發電に利用され、その電氣は主として東京方面へ送られてゐますが、一部は附近の工場で使用されます。

會津盆地の中心地若松は、盆地の米やまゆの集ると

こゝです。この盆地をはじめ、日本海側には盆地がいくつもあつて、南北に並んでをり、奥羽本線に沿ふ米澤・山形・横手などは、それら盆地の中心地です。かうした盆地や、酒田・秋田・弘前を中心とする平野及び仙臺平野などは、米の主産地で、東京をはじめ大阪その他へどんどん積み出し、わが國のうちで、米を他地方へ送り出す大切なところとなつてゐます。ただこの地方は、年により夏の氣温が不足して、凶作を見ることがあります。特に、寒流の流れる太平洋側にそれが多いのです。

最上川の上流にある米澤・山形は、ともに盛んな養蠶地の中心で、絹織物を産します。最上川流域から雄物川流域へ出る奥羽本線は、秋田で羽越本線と合します。羽越本線は、日本海沿岸を通つて、秋田と新潟方面とをせんとくする線で、庄内平野の酒田・鶴岡などは、この線に沿つてゐます。秋田の附近には、油田が

けてあります。また冬の日本海沿岸は、風波が荒くて、海上の交通も不便をまぬがれません。

馬とりんご 奥羽山脈の東側は、古くから牧馬がたいそう盛んで、名馬の産地として知られた地方です。火山のすそ野や、廣い原野には、各地に牧場があつて、たくましい馬がたくさんとびまはつてゐます。また、農家でも馬を育てるのに熱心で、いたるところで飼はれてゐます。三本木附近、盛岡附近、仙臺平野の西部、白河附近などは、牧場の中心地です。所々に馬市が立つて取引されますが、盛岡や白河の馬市は殊に有名です。

太平洋側が有名な牧馬地帯であるにひきかへ、日本海側には、わが國第一のりんごの産地である弘前附近の平野があります。この地方では、明治のはじめごろから栽培され、以來栽培者の非常な苦心が續けられた上、氣候・土質もまたりんごに適したため、遂に今日

あつて石油を産し、主として秋田の製油所で精製します。石油のほか、秋田縣には鑛産物が多く、米代川と雄物川の流域の山地には、銅・金・銀の鑛山が所々にあつて、中でも小坂は最もあらはれてゐます。

日本海側には森林がよく茂り、殊に米代川流域の杉は有名で、沿岸各地に製材業が行なはれ、能代はその中心地となつてゐます。

奥羽本線は、八郎潟の東岸を通り、米代川に沿つてのぼり、上流から北へ峠を越えて、弘前をすぎ、やがて青森に達します。

東北本線と奥羽本線とを東西にせんとくする鐵道は、奥羽山脈を横ぎるために、その發達もおくれましたが、今日ではいく本もできて、だんだん便利になりました。しかし、日本海側は冬、雪が深いので、汽車の交通もまたげられることがあります。この地方では、線路のどこどこに、「雪よけトンネル」が設

のやうな盛況を見るに至りました。

青森縣は、わが國のりんごのほとんど大部分を出し、各地へ送られます。

りんごと同じく、本州北東部に最も多い果物に櫻桃があります。これは、わが國で山形・福島の一縣が、特に多く栽培されてゐます。本州北東部では、暖かい地方に適するみかんがほとんど見られないかほりに、暖かい地方にごく少いりんごや、櫻桃がたくさんで

## 十 北海道

北海道はわが國でいちばん北にある地方ですから、本州や四國・九州とちがつて、氣温がずっと低く、冬の寒さのきびしいところです。開拓の歴史は新しいのですが、それにもかへはらず、移住者の努力によつて、その發展にはめざましいものがあります。

北海道は、明治の初めから、本州その他各地方から移住して来た人たちが、いろいろな困難と戦ひながら、努力を重ねて開拓に従事したので、種々の産業が大いに興り、それとともに交通も發達して来ました。人口は年々増加し、都市も所々にできて、すべてが新興の意氣を見せてゐます。

北海道は人口約三百三十萬、面積のわりあひからすると、わが國でいちばん人口の少ない地方ですが、今後の發展にともなつて、ますます増加するでありません。

北海道の三大港 函館・小樽・室蘭は北海道の主な港で、いづれも西の半島部にあります。この半島部は、北海道の入口にあたり特に津輕海峡にのぞむ函館は、本州とのれんらくのいちばん便利なところです。小樽は、日本海方面の港を代表し、室蘭は、太平洋方面の港を代表すると見ることが出来ます。そのほか主

豊かな水産 寒流と暖流とが流れてゐる北海道本島の近海や千島附近は、世界的な大漁場です。にしん・さけ・ます・たら・かに・こんぶなど、寒流の海に多いもののほか、いわし・いか・まぐろなども多いのです。さけやますは、各地の川でもたくさん取れます。北海道は、西の半島部の沿岸がいちばん早く開けましたが、それは、この方面へ、本州から漁業に出かける人が多く、漁港も發達したからです。そのうち、他の海岸地方が次第に開け、さらに奥地へと開拓が及んで行つたのです。

函館・小樽・室蘭の三大港をはじめ、どの港もすべて漁業の根據地となつてゐます。毎年漁期には、本州から北海道へ出かせぎに行く人たちがたくさんあります。沿岸各地で取れた水産物は、大部分がいろいろな製造物として各地へ送られます。

石狩平野と十勝平野 開拓の當初、非常に困難であ

な港に、釧路・根室・稚内などがあります。

函館は、海陸交通の要地にあつて、水産物の取引が多く、造船その他の工業も行なはれます。

函館から函館本線が起つて北に向かひ、小樽・札幌を経て旭川に達します。その沿線には、駒岳や羊蹄山などの火山がそびえ、いづれもその附近に美しい風景をくりひろげてゐます。北海道には、千島火山帯と那須火山帯とが通つてゐるので、火山が多く、殊に、半島部にはいたるところに火山があり、火山にともなつて湖や温泉があります。

小樽は、後に石狩平野をひかへ、活氣のある商業地で、製罐工業が盛んです。室蘭へは、室蘭本線が通じてゐます。この線は、函館本線から分れ、太平洋岸に沿うて東へ向かひ、室蘭・苫小牧を経て、岩見澤で再び函館本線に合します。室蘭には大きな鐵工場があります。

つた北海道の農業も、その後一大發達をとげ、氣候に適したいろいろな農産物が、たくさん取れるやうになりました。そのはじめ栽培することのできないものとされてゐた米が、今ではほとんど全島にわたつてつくられ、産額がいちじるしく増加しました。また、蕎麥・小麥・じやがいも・豆などを多く産するほか、はつか・亜麻・除蟲菊・甜菜のやうな特産物が多く、所所にりんごが栽培されてゐます。

石狩平野は最もよく開け、石狩川上流の上川盆地とともに、米の主産地であり、十勝平野は、蝦夷山脈の東側にある代表的な平野で、鐵道が石狩平野と相通じるやうになつて以來、大いに發展し、豆・甜菜・亜麻などがたくさんできます。札幌・旭川・帯広は、それぞれこれら農業地の中心地として、農産物を原料とする工業が興り、札幌ではビール・亜麻製品の製造、旭川では製粉・清酒、帯広では甜菜糖の製造が行なはれ

てゐます。また、北見地方にも、はつかその他の農産物を多く産します。

石狩平野の東には、大きな炭田があります。筑豊炭田に次いでたくさん石炭を産出し、水力の利用と相まつて、北海道の工業の發達にたいそう役立つてゐます。この石炭は、室蘭・小樽の港から他の地方へもたくさん送られてゐます。そのほか、釧路附近には釧路炭田があり、また所々に金・鐵・硫黄などを産します。

石狩平野は、北海道中、人口がいちばん密で産業が發達し、本島の文化・交通の中心地であります。札幌は北海道廳のあるところで、一體に道幅が廣く、市街がよくととのつてゐます。

函館から札幌を経て旭川に至る函館本線は、旭川から稚内に至る宗谷本線に連なり、本島の縦貫線となつてゐます。また釧路で函館本線に分れて狩勝峠を越

え、帶廣・釧路を経て根室に達する樺室本線は、東西のれんらく線として大切です。

森林と牧場 北海道には寒い地方に適するえぞまつ・とどまつなどの天然林が廣く分布してゐます。これらは、バルブの原料として大切な木材であり、隨つてバルブ・製紙工業が發達し、各地にその工場があります。中でも苫小牧・江別・釧路・旭川には、大きな製紙工場があつて、盛んにバルブ・洋紙をつくつてゐます。北海道は、わが國の洋紙の主産地です。

北海道の産業の一つとして、牧畜もまた非常に盛んです。わが國でも他にほとんど見ることのできない廣廣とした原野があり、飼料としての燕麥や、牧草もよく育つので、馬や牛の牧畜に適し、特に、南東部の太平洋方面は牧馬の中心地で、馬市も各地で開かれます。石狩平野には乳牛が多く、札幌では乳製品の製造が盛んです。この平野には、羊も飼はれてゐます。

初等科地理上 第五學年用(第二分冊)

昭和二十一年七月十二日 翻刻印刷  
昭和二十一年八月十日 翻刻發行  
(昭和二十一年七月十二日文部省檢査済)

初等科地理上 第五學年用(第二分冊)(杉)

定價 金五十五錢

著作權所有 發行者 兼 文 部 省

東京都王子區堀船町二丁目八五七番地。

翻刻發行 兼印刷者 東京書籍株式會社

代表者 井上 源之丞

印刷所 東京都王子區堀船町二丁目八五七番地  
東京書籍株式會社

Approved by Ministry  
of Education  
(Date July 12, 1946)

發行所 東京都王子區堀船町二丁目八五七番地  
東京書籍株式會社

第六學年用

初等科地理 下

文 部 省

## 目 録

|                 |   |
|-----------------|---|
| 一、世界の陸地と海洋      | 一 |
| 二、アジア           | 二 |
| (一) 朝鮮          | 四 |
| (二) 支那          | 七 |
| (三) インド支那       |   |
| (四) マレー諸島       |   |
| (五) インド         |   |
| (六) 西アジアと中アジア   |   |
| (七) シベリヤ        |   |
| 三、大洋洲           |   |
| (一) 太平洋の島々      |   |
| (二) 濠洲          |   |
| 四、北アメリカ         |   |
| (一) アメリカ合衆國(米國) |   |
| (二) カナダとその他     |   |
| 五、南アメリカ         |   |
| 六、ヨーロッパ         |   |
| (一) イギリス(英國)    |   |
| (二) ロシア(ソビエト聯邦) |   |
| (三) フランス        |   |
| (四) その他の主な國々    |   |
| 七、アフリカ          |   |

## 一、世界の陸地と海洋

地球儀の上から陸地と海洋をしらべてみませう。わが國をはさんでゐるアジアと太平洋は、いづれも世界でいちばん大きな大陸と海洋です。アジアに續く西の地方がヨーロッパです。さうしてこの二つをいつしよにして、ユーラシア大陸とも呼んでゐます。ヨーロッパの南方、地中海をはさんでゐる大陸がアフリカで、赤道の南北にまたがつてゐます。

アジアの南東部の島々に近く、またわが國のすつと南方にある大陸が、オーストラリヤすなはち濠洲です。これと太平洋の島々をふくむ地方をふつう大洋洲と呼んでゐます。

アジアと大洋洲をへだてたはるかかなたには、北アメリカと南アメリカとが、南北に長く連なつてゐて、パナマ運河は、これらのほぼ真中どころの地峽部にあ

ります。

東のヨーロッパとアフリカ、西の北アメリカと南アメリカ、これらにはさまれた海洋が大西洋で、その廣さは太平洋の半分ぐらゐです。しかし世界でも最も船の交通の盛んなところだ。またアジアの南方にあつて、東に濠洲、西にアフリカをひかへた海洋が、インド洋で、東亞とヨーロッパを連絡するのに役立つてゐます。

世界の陸地はこれを合はせると、およそ一億五千萬平方キロとなり、住民は全部で約二十二億を數へます。随つて人口密度は、一平方キロおよそ十五人となります。

世界で人口數の最も多いのはアジアで、世界總人口の半分以上を占めてゐます。しかし人口密度の最も高いのはヨーロッパで、一平方キロ七十數人です。

アジアとヨーロッパは早くから開けて、世界の文明

國は多くここに起りました。これと比較して、北アメリカと南アメリカとは、開けはじめてから數百年にしかありません。しかし氣候の溫和なところが廣い上に、天産物も豊かなので、ヨーロッパやアジアの各地からここに移住するものがふえるにつれて、ぐんぐん開けて來ました。アフリカと大洋洲は、ほとんどその大部分が歐米諸國の領地となつてゐます。

## 二、アジア

アジアはその面積が世界のおよそ三分の一に當り、その住民の總數は十二億をこえてゐます。世界で最も早く開けた地方の中にはいる支那やインドも、この大陸にあります。

高山・大沙漠・大平地 アジア大陸のほぼ中央部は、土地が極めて高く、バミル高原を起點として、ヒマラヤ山脈をはじめ、いくつもの大山脈が諸方に走つて、

この大陸の主な分水嶺となつてゐます。中でもヒマラヤ山脈は雄大無比の大山脈で、主峯のエベレストをはじめ、八千メートル以上の高い山々がたくさん立ち連なり、四時氷雪をいただいて大空高くそびえてゐます。

これらのいくつかの山脈の間には、チベットや蒙古などの廣大な高原があります。またバミル高原の南西には、イランの高原があり、さらにその南西にはアラビアの高原があります。これらの高原は雨がほとんど降らないので、川といふ川もなく、草原や沙漠がはるばると連なつてゐて、寒暑の差はなほだしいのです。随つて住民は極めて少く、大ていは、いはゆる遊牧の民であります。

中央部の高地と海岸との間には、所々に低い大平地があります。そのうち、北のシベリヤの平地と西の中アジアの平地とは、相連なつて世界でも最も大きな平地となつてゐます。シベリヤの平地は、大部分は寒さ

がたいそうはげしいので、産業が盛んでなく、住民も少いのです。ただオビ川やエニセイ川などの上流地方には、農業や牧畜の發達してゐるところがあります。中アジアの平地は雨が少いので、草原がひろがつてゐます。そのためいつばんに牧畜が主な産業となつてゐますが、ただ裏海とその他の湖の沿岸や、これらの湖に流れこむいくつかの川の沿岸には、農業が行なはれてゐます。

太平洋方面には支那平野があり、インド洋方面にはインド平野があります。支那平野には揚子江や黄河などが流れ、インド平野にはガンジス川やインダス川などが流れてゐます。この兩平野は共に地味が肥えてゐて、古くから農業が大いに發達し、人口もたいそう多いところでは、さうしてアジアの住民のおよそ半分は、この兩平野に住んでゐます。

この兩平野に次いで開けてゐるところは、太平洋と

インド洋に流れこむ川々の沿岸の平野や、アジア南東部のインド支那やマレー諸島の一部などであり、アジヤの諸地方 アジヤの諸地方のうちでも、支那は古い歴史をもつ大陸の國で、土地がたいそう廣く、人口も非常に多いところでは、朝鮮はわが國と支那との間にあつて、半島の地方です。

支那の南には、インド支那半島があります。ここは東部インド支那・シャム・ビルマの三つの部分に分れてゐます。この半島の一部はすつと南へのびて、マレー半島となつてゐます。インド支那半島の東方一帯がマレー諸島で、大小さまざまな島々が散らばつてゐます。

インド支那の西には廣大なインドがあります。支那と似て歴史の古い國ですが、今はイギリスの領地です。インドの西方は西アジアで、中には早くから文明の發達したところもありますが、いつばんにまだ開けない

地方となつてゐます。

アジア大陸の北部には、ロシアの領地である廣いシベリヤの寒冷な地方があり、針葉樹の大森林がひろがつてゐます。

## (二) 朝鮮

朝鮮はアジア大陸の一部ですから、わが國と比べて、氣候も大陸性で、寒暑の差がいちじるしく、雨はいっぱんに少い方です。約一千キロにわたつて南北に長い半島ですから、南部の海岸地方は溫和ですが、北へ行くにつれて、冬の寒さがきびしくなり、北部では川も凍ります。

朝鮮は南から北へ行くほど土地が高まり、北部は廣い高原で、國境には火山である白頭山が高くそびえてゐます。

山脈が半島の東側へかたよつてゐますから、日本海

沿岸は山地が海にせまり、そこには海にのぞんで岩山の群がそそりたつ金剛山のやうな勝地もあります。平地にとほしく、交通が不便で、産業もいづばんに發達してゐません。

これに反して、西の黄海方面と南の朝鮮海峽方面には、大きな川々があつて各地に平野が分布してゐます。海岸線の出入が多く、附近に大小無數の島々があつて、よい港があり、交通や産業が開けて都市も發達してゐます。これらの點で、日本海沿岸とは非常なちがひです。

朝鮮の住民はいはゆる朝鮮民族で、總數はおよそ二千四百萬を數へます。

農業の發達 朝鮮は雨が少い上に、長い間樹木を伐り荒したため、山地の大部分には森林が少く、平地も灌漑の便がよくありませんでした。しかし夏は氣温が割合に高く、地味もおほむね肥沃ですから、農業は昔

から朝鮮第一の農業となつてゐます。近年水源を養つたり、所々に灌漑の工事をほどこしましたので、耕地がたいそう廣くなり、農産物の産額も大いに増加してゐます。

農産物の主なものは米・麥・大豆・粟であります。

中でも米はいちばん大切な産物で、特に中部以南の平野に多く産します。大邱や大田をはじめ、この地方の鐵道に沿ふ町々では、皆米の取引が行なはれ、釜山・群山・仁川等でも、たくさん米が集散します。

麥と大豆は廣く各地に産じ、大豆の取引は特に仁川が盛んです。粟は北部の平野に多くつくられ、米に次ぐ大切な食物となつてゐます。南部・中部の平野に多く栽培されるものに、綿があります。近來いろいろの改良が加へられて、産額も増加してゐます。

南部から中部にかけては養蠶業が發達して、まゆの産出が多くなり、それにつれて製絲業も所々に興つて

ゐます。たばこもこの方面に多い産物です。人蔘は、昔から朝鮮の特産物として名高く、開城附近は栽培の中心地であるばかりでなく、上等のものを産します。果物では、りんごが廣く各地に栽培されますが、殊に北部が盛んです。

朝鮮の農業にとつて、牛はなくてはならない大切な家畜となつてゐます。性質がおとなしく、たいそうよく働きますから、いたるところに飼はれてゐます。

南部の諸地方とちがひ、北部には大森林があつて、中でも鴨綠江・豆滿江の流域のものは有名です。てうせんまつ・からまつ・もみ等の良材が盛んに伐り出され、その一部は鴨綠江によつて新義州に集り、一部は鐵道によつて、日本海沿岸にも運ばれます。

朝鮮の近海には、寒流・暖流が流れてゐますから、魚類に富んでゐます。その上沿岸には漁港に適したところが多いため、漁業は各地で行なはれてゐます。こ

れまでわが國から朝鮮の沿海へ出漁するものも少くありませんでした。日本海方面のめんたいと、黄海方面のぐちとは殊に有名です。そのほかいわし・さば・にしん等もたくさんとれます。随つて水産製造物の産額も少くありません。黄海の沿岸では、天日による製鹽が行なはれてゐます。

鑛山と工業 朝鮮にはいろいろの鑛産物が出ますがそのうち主なものは、金・鐵・石炭で、いづれも中部以北の地方に多いのです。

金は北西部の山地で多く掘り出され、鎮南浦では金の精鍊が行なはれます。兼二浦の南の山地には、大きな鑛山がいくつもあります。石炭は平壤附近が主産地です。金や鐵鑛の産地に近くて、石炭の利用にも便利な平壤附近では、金屬の精鍊をはじめ、いろいろな工業が行なはれてゐます。

北部の高原地方には、所々に大きな水力發電所がで

へ行く線も主な鐵道です。また別に京城から日本海沿岸の元山・咸興等を通り、會亭を経て、滿洲の鐵道と連絡する線も大切で

釜山から新義州まで、及び大田から木浦までの沿線に連なつてゐる南部・中部の平野は、朝鮮中入口が最も密で、都市もたくさんあり、産業もよく開けてゐます。

京城は、半島のほぼ中央にあつて、古くから政治の中心として榮えたところです。現在も産業・交通・文化の中心をなし、朝鮮第一の都會です。仁川は京城の港の役目をつとめ、朝鮮の西の入口に當ります。これに對し、北東部の入口としては、清津や羅津が有名です。

## (二) 支那

支那は大きな國で、その中にアジアのうちの主な大

き、その電力によつて、興南をはじめ北東部の海岸地帯では、新しい工業が興つてゐます。また鴨綠江の下流をせきとめる大規模な發電所も完成して、將來この地方の工業の發達はますます有望となつてゐます。

この北部の工業に對して、南部では、原料の關係から紡績や製絲の行なはれるところがあり、また中部では、京城附近を中心いろいろな工業が盛んで、今では工業は、農業に次ぐ朝鮮の大切な産業となつてゐます。

釜山から新義州まで 下關から汽船に乗ると、七時間半で朝鮮の南の入口釜山に着きます。鐵道は釜山から起つて北へ向かひ、大邱・京城・平壤等を通り、新義州から鴨綠江の鐵橋を渡つて、對岸の安東に着き、ここで滿洲の鐵道に連絡します。随つてこの線は世界の鐵道の幹線の一部をなしてゐます。

釜山と京城のほぼ中間にある大田から分れて、木浦

高原・大山脈・大平地をふくんでゐます。西方の高地から流れ出して、東方の海へそいでゐる揚子江や黄河は、世界的な大川であります。人口も四億數千萬を數へ、世界でも最も人口の多い國の一つであります。

國名は中華民國といひますが、ふつうには支那と呼んでゐます。この國とわが國とは、昔から深い關係の間からあります。國內は滿洲・支那本部・內蒙古・新疆・青海・チベット等の數地方に分れてゐますが、そのうちでよく開けてゐるところは、滿洲と支那本部であります。

滿洲の農業と鑛業 滿洲は中央に廣い平地があつて、東の部分と西の部分とは大い山地であります。松花江は、この平地の北部である北滿洲を流れて黑龍江に合し、遼河は、この平地の南部である南滿洲を流れて渤海灣にはいります。この二つの川の流域は、平

野が遠く連なつてゐて、農業が盛んであります。

氣候は朝鮮よりいっそう大陸的で、冬は非常に寒くて乾燥してゐますが、夏はかなり暑くて雨量も相當ありますから、この點でも滿洲は農業に適してゐます。

農産物のうちで重要なものは、大豆・かうり・やん・小麦であります。中でも大豆は世界的の産物で、全滿の平地に産します。大豆や豆油は食糧として大切ですが、また工業方面でいろいろ役立ちます。豆油をとつたあとの豆粕も、肥料として利用されます。かうりやんは北滿より南滿の方が少し多く、これが育つと、丈が高くてびて畠の見通しがききません。大豆は輸出品として重要ですが、かうりやんはほとんどこの地方の住民の食糧となります。小麦は雨の割合少ない北滿に多く産し、ハルビン製粉業の中心地でもあります。このほか粟・たうもろこし・綿・米等も産出します。綿は特に南の方でなければ産しません。

したので、種々の工業が、奉天をはじめ、南滿洲の各地に興つて來てゐます。

滿洲の鐵道と都邑 滿洲の主な都市は、大てい交通の要地であります。大連・奉天・長春・ハルビン・吉林・牡丹江・チチハル等は、そのよい例でせう。

鐵道のうち、大連から北東に走つてハルビンに達し、北滿洲を北西に通ち抜けて、滿洲里でロシアの鐵道に連絡するものば特に重要です。またハルビンから東方ウラジオストクへ向かふ線と、奉天から安東へ出て新義州と連絡するものも大切です。

大連は海陸連絡の起點で、滿洲の表の入口として發達してゐます。近くにある旅順は關東州の一中心で、自然の良港です。奉天は南滿の大中心地であり、今では盛んな商工業都市となつてゐます。長春は全滿のほぼ中心に當り、奉天と共に交通上の要地です。ハルビンは北滿の中心地で、夏はここから松花江を汽船でく

滿洲の西の方には、草原がひろがつてゐて、羊を飼ふ住民の群が所々に見られます。豚は全滿の農家に飼はれてゐます。

朝鮮との境に近い山地や、北滿の山地には大森林があつて、次第に伐り出されてゐます。

海岸の各地では、朝鮮の場合と同じく、天日を利用する製鹽業が行なはれてゐます。

石炭と鐵は滿洲の大切な産物です。炭田としては、撫順が早くから有名ですが、近時、阜新・鶴崗・密山等の大炭田も知られてゐます。鐵山は鞍山、本溪附近・東遼道方面などにあつて、鞍山をはじめ、各地に製鐵業が興つてゐます。このほか人造石油・マグネシウム・アルミニウムもつくり出され、金・銀等も産します。

このやうに滿洲には、石炭や鐵が多く、また鴨綠江・松花江・鏡泊湖等の水力發電も盛んになつて來ま

だることができ、冬は氷上の輸送も行なはれます。

安東と圖們は朝鮮との境にある、いはば滿洲の陸の入口であり、營口は遼河の川口にある支那風の町です。

滿洲にはおよそ四千三百萬の人々が生活してゐますが、その大部分はいはゆる漢人で、最近百年ぐらゐの間に、北支那方面から移住したものです。昔から滿洲に住んでゐた人たちは、二百六、七十萬人を數へて東部に多く、蒙古人は大體西部に住んでゐます。

支那本部の農業 支那本部は支那で最も重要なところですが、ここに支那の大多數の人々が住んでゐて、その多くは農業に従事してゐます。

支那本部の北部はいはゆる北支那で、大體黄河の流域に屬してゐます。中部は中支那で、揚子江の流域であり、南部は南支那で、主として珠江の流域であります。

三つの川のうちでも、いちばん大切なのは揚子江

で、川幅の廣いこと、流域の大きなこと、流域に人口の多いことなど、世界にあまり例のないほどです。黄河の下流には北支那の大平野があり、これもわが本州がおほよそその中へはいつてしまふくらゐの大きさです。わが國と比べると、支那のものは、川でも平野でも山地でも、すべてが大規模です。

北支那は雨も少く気温も低いのですが、中支那から南支那へかけては、南へ行くほどだんだん雨も多くなり、気候も暖かで、遂には亞熱帶性の氣候をあらはします。気温はいつぱんに大陸性で、夏が高温になることが、滿洲と同じく、農業にとつて有利な點であります。

北支那地方は一帶に黄土におほはれ、山西方面にはずるぶん厚く堆積してゐるところがあります。それが黄河その他の川々や風によつて運ばれ、北支那の平地へ堆積するのです。黄河とその流れこむ黄海は、黄土

とで、滿洲へ移つた支那人も少くないのです。

北支那の農産物に對して、中支那では水と気温に恵まれて、米をはじめ綿・茶・麻・たばこ・桐油等を多く産出し、またわが國のやうに養蠶も行なはれてゐます。中支那のうち農業の最も盛んなのは、揚子江の下流や中流の地域ですが、奥地にある四川盆地も農産物のたくさんでゐる地方であります。

南支那は中支那よりいつそ温暖で、雨も多いので、米・茶・たばこ等のほか、さとうきびも栽培され、またバナナやパイナップルもでき、竹やくすの木などもよく生育します。養蠶も行なはれてゐますが、いつぱんに山がらで、平地が少く、人口が多すぎるため、年々インド支那やマレー諸島方面へたくさん出かけるに行きます。

支那本部の諸産業 支那本部はいたるところ牧畜が盛んです。豚は全支の農家に飼はれ、羊は北支那の北

をふくむため黄色をおびてゐます。黄土の層はやほらかく肥えてゐて、これがまた農業によいえきやうを與へてゐます。

このやうに北支那平野は、氣候や地味が農業に適してゐますから、農産物が多く、小麦・大豆・綿・かうりやん・粟・たうもろこし・落花生等をたくさん産出します。その種類は大體滿洲と似てゐることに氣づくでせう。ただ滿洲より南にあるだけ、綿などはいつそ盛んに栽培されてゐます。

しかしいつぱんに雨は少い方であり、土もかわいてゐる方なので、これまで米はほとんどつくられてゐませんでした。また年によつてひでりのため、畠作物のとれないこともあります。かうしたひでりと黄河や白河などの洪水のために、住民はしばしばなんぎをすることがあります。かうした年などには、住民は仕事をさがして他地方へ出かけるものが多く、さうしたこ

西部から内蒙古にかけて多く、隨つて羊毛の産出も少くありません。馬やろばは北支那に多く、養蠶は中支那が盛んです。牛も各地に飼はれてゐますが、中でも山東半島のものは有名です。

支那本部の沿海諸地方には、製鹽が各地に行なはれてゐますが、北支那方面の天日製鹽は特にきこえてゐます。

支那本部には近代工業がこれまであまり發達してゐませんでしたが、農産物に加工するものはなかなか盛んで、製絲・製綿・紡績・製茶等が各地に行なはれてゐます。いつぱんに日用品や雜貨類は不足しますので、諸外國からの輸入にまづありさまです。

支那本部は種々の礦産物に富んでゐます。殊に北部・中部には、鐵礦と石炭が多く産出します。中でも石炭の地下にある量は世界有数のものといはれてゐます。しかし現在、掘り出されてゐるのはその一部分に

すぎません。

鐵嶺は漢口の南東にある大冶の鎮山が古くから有名です。内蒙古の龍烟や山東の金嶺鎮、海南島の田獨・石録等もあらはれてゐます。

石炭は早くから天津の北東にある開平と、大冶の南方にある萍鄉の炭坑で掘り出されてゐました。このほか内蒙古の大同、山西の井陘、山東の淄川なども知られてゐます。

これらの石炭や鐵嶺に恵まれ、その上住民の努力もたくさんありますので、製鐵その他の工業の將來は期待されてゐます。

石炭と鐵嶺のほかでは、タングステンとアンチモンの産が有名です。これは二つとも支那が世界第一の産地で、中・南支の各地から産出します。

支那本部の交通と主な都邑 支那本部のうちでも、東部の平野は比較的に交通が便利です。中でも揚子江

このほかの主な鐵道は、膠州灣沿岸の青島に起り、西の方濟南に通じて、天津からの線に合はさるもの、また青島の南西の海州附近から發して、西方の徐州・開封・鄭州等を経て、河南・西安方面に向かふものなどがあります。

北支那では北平から北西に向かつて、内蒙古の張家口や大同を経て包頭へ達するものがあり、中支那では上海から出て、杭州を通り、西の方南昌・長沙方面へ通じるものがあります。別に南支那奥地の昆明からインド支那のハノイを経て、ハイフォンへ達する鐵道もあります。

支那本部は滿洲と共に、近時航空路が大いに開かれてゐますが、これは鐵道の比較的發達しないこの國の交通をおぎなふ意味でも重要となつてゐます。

東に開いてゐる支那本部には、所々に港が發達してゐます。中でも天津・青島・上海・香港等は名高い港

は、自然の大交通路をなし、その本流も支流も大部分は船が通ります。殊に南東季節風のもたらす夏の増水期には、川口から約一千キロの上流にある漢口まで、海洋を航行する大きな汽船も自由に往來することができまゝ。随つて漢口と揚子江の川口近くにある上海とは、水陸交通の要地で、商業がたいさう盛んで、工業も興つてゐます。また大運河は、今も所々大切な水路として利用されてゐます。

鐵道の幹線は大抵南北に通じ、その中で北平を起點とするものは、滿洲との境にある山海關に達する線と、南下して漢口に通じる線とがあります。山海關からはさらに奉天に連絡してゐます。漢口の對岸の武昌からは南に向かつて、南支那の山地を横斷し、廣東に達する線があります。北平の南東の天津に起るものは、南の方、揚子江下流の浦口に達し、その對岸の南京から上海への鐵道と連絡してゐます。

です。このうち天津と上海は、漢口・廣東等と共に、川を利用した港です。

特に上海は世界的な大貿易港で、廣大な揚子江の流域一帯と取引するほか、いはゆる中繼貿易港として、イギリス領の香港と同じく、東洋各地の物資を集散してゐます。

北平と南京は、昔から支那の都となつたところで、大きな城壁が今も残つてゐます。また重慶は四川盆地にある都會です。

臺灣の自然の特色 臺灣は南支那と臺灣海峡をへだてたところにあり、島のほぼ真中どころは、北回歸線に當つてゐます。随つて南支那と同じく亞熱帶性の氣候の地方です。住民は約六百萬を數へ、その大部分は漢人で、對岸方面から移住したものです。さうした住民の多くは農業に従事してゐます。

臺灣では島を縦に通つてゐる臺灣山脈が、真中より

も東の方へかたよつて連なつてゐますから、西側には比較的大きな川々が流れてゐて、それらの下流の平野は、海岸に沿つて續いてゐます。これと反對に東側は山地が急に海にせまつてゐるので、平野はせまいのです。このやうすは、朝鮮半島と似てゐますが、ただ臺灣海峡にある澎湖諸島はうこしやうのほかは、島がごくわづかで、しかも西海岸は遠浅ですから、天然の良港はほとんどありません。臺灣山脈中には富士山よりも高い山々があり、けはしい山地をなしてゐます。

西部の臺灣平野は、農業や商工業が發達してゐて、山地の森林帯とはよい對照を示してゐます。隨つて住民の大部分は西部に集り、主な都市もこの方面に分布してゐます。

臺灣の農業とその他 氣候のえいきやうで、臺灣には、米・さとうきび・茶が盛んに栽培され、バナナやパイナップルも産し、また山地にはくすの木や竹がよ

Approved by Ministry  
of Education  
(Date Apr. 25, 1946)

昭和二十一年四月二十五日 印刷印刷  
昭和二十一年五月二十日 印刷發行  
（昭和二十一年四月二十五日交際費を要す）

初等科地理下級六級用第一分冊  
定價 金拾圓

著作權所有 發行所 文部省

東京都王子區堀船町一丁目八五七番地

印刷發行 東京書籍株式會社

代表者 井上源之丞

東京都王子區堀船町一丁目八五七番地

印刷所 東京書籍株式會社

東京都王子區堀船町一丁目八五七番地

發行所 東京書籍株式會社

く生育します。川々から引かれた用水路や溜池ため池の設備のあるところは、年に二回も米をとることができ、その産額も多くて、他の地方へ盛んに送り出すほどです。

さとうきびはこの島の代表的な作物で、主に中部・南部の平野に栽培され、各地に製糖工場を興してゐます。

北部の臺地には、茶が盛んに栽培され、臺北その他で精製され、砂糖と共に、他地方へもたくさん送り出されます。さつまいもは、いたるところで、年中つくられ、米に次ぐ大切な食糧です。

臺灣の農家では水牛がよく飼はれてゐます。からだが強健で、耕作にも、物を運ぶにもたいさう役立ち、殊に水田の耕作に適してゐます。なほ豚は中國本土と似て、ほとんど各戸に飼はれ、その頭数はわが國の二倍に近いくらいです。